

宇治茶と歴史・文化の香る まちづくり構想 〈素案〉



宇治川太閤堤跡の発掘状況（平成19年8月撮影）

1 まちづくり構想策定の背景と目的

■ はじまりは宇治川太閤堤跡の発見

平成16年頃から京阪宇治駅西側に広がる農地では関係地権者の皆さんが共同して宅地化を進めるため、土地区画整理事業の計画が進められていました。

事業内容もほぼ決まり、工事に先立つ埋蔵文化財調査を進めていたところ、石積み護岸が発見され、その後の調査でこれが太閤堤の一部であることがわかりました。

このため本市では、この遺跡の保存・活用を図るとともに観光宇治の新たな拠点として整備するため、関係地権者の皆さんとも協議を重ね、土地区画整理事業の大幅な計画変更にご協力いただくこととなりました。



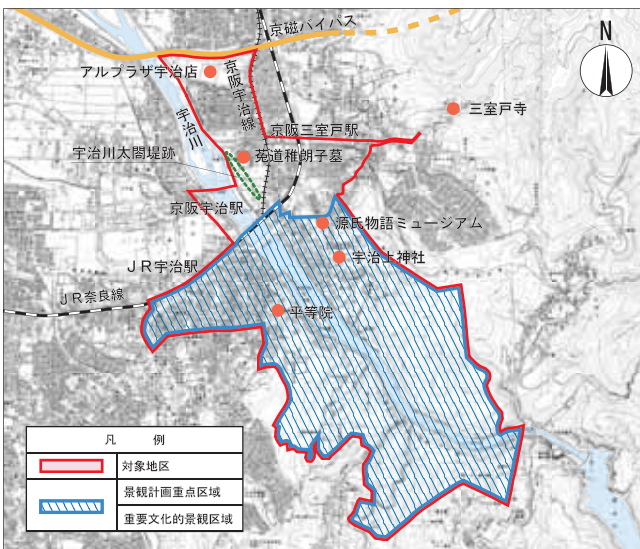
■ まちづくり構想策定の目的

宇治橋周辺地域は、世界遺産である平等院鳳凰堂や宇治上神社をはじめとする歴史・文化資源が集積しており、これまで源氏物語や平安時代をテーマとした観光客誘致を展開してきました。

今回、宇治川太閤堤の発見を契機に、「秀吉と茶の湯」という新たなテーマを加えて、歴史と文化に恵まれた宇治のまちづくりをもう一度見直し、源氏物語千年紀で賑わう宇治のさらなる発展を目的として、「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」を策定する運びになりました。

2 対象地区の設定

本構想の策定にあたり、宇治橋周辺の歴史・文化遺産や観光施設とこれらを結ぶ観光周遊ルートならびに「宇治市景観計画重点区域」を含み、まちづくりを一体的に進める必要がある一定の範囲を検討対象地区とし、下図の約300haを設定しました。



■ 太閤堤とは

太閤堤は、伏見城築城に際してこれまで宇治橋付近から巨椋池に流れ込んでいた宇治川の流れを付け替え、水運充実と街道整備を行うために豊臣秀吉が命じて造営されたと考えられる宇治川・淀川堤防で、これまで宇治川左岸での存在は確認されていましたが、右岸では今回がはじめての発見となります。

通常こうした堤防遺跡は河川範囲にあることが多く、今回のように河川敷きからはずれた場所で発見され、かつ当時の原型をよくとどめているものは全国的にも稀です。

また、今回発見されたものは、現代の治水技術に匹敵する高い技術が認められるたいへん貴重な遺跡で、現在国の史跡指定に向けた取り組みを進めています。



3 対象地区の現状と課題

観光資源の状況

地区内の中心を宇治川が流れており、茶畑景観とともに雄大な自然美を形成しています。また、宇治川を挟んで兩岸にそれぞれ平等院、宇治上神社の2つの世界遺産があり、三室戸寺や興聖寺といった歴史資源も数多く、自然と歴史が調和した美しい景観を創出しています。また、近年は源氏物語ミュージアムなどの新たな施設整備も進められ、国内、国外から多くの観光客が訪れており、宇治川太閤堤跡の発見により、観光地としてのさらなる魅力向上が望まれています。



宇治川の景観



平等院鳳凰堂



源氏物語ミュージアム



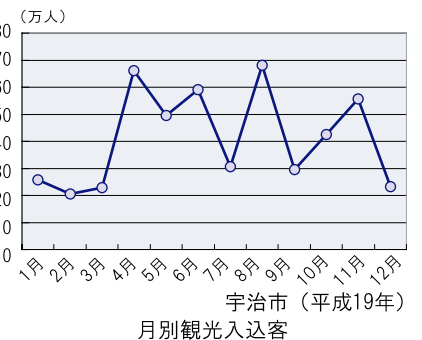
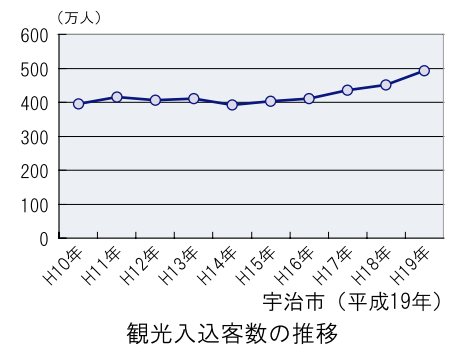
宇治上神社

観光及び地域の現状

本市を訪れる観光客は、平成19年（2007年）で493万人となっています。近年は年々増加傾向にあり、平成20年には源氏物語千年紀の効果もあり、年間500万人に達する見込みです。また、観光客の多くが日帰り観光客となっています。

月別の観光入込客数は、「宇治川花火大会」が行われる8月が最も多く、「宇治川さくらまつり」が行われる4月、ゴールデンウィークの5月、「県まつり」が行われる6月、「スタンプラリー」や「灯り絵巻」が行われる10月、そして紅葉の時期である11月の観光客が多くなっています。

対象地区には4つの商店街が分布しており、観光地としてだけでなく、市民にとっての生活の中心地としても機能しています。



まちづくりの課題

既存の上位・関連計画や関係者からのヒアリング結果から地域の課題を整理すると、次のとおりです。

1. 平等院や宇治上神社をはじめとする既存の歴史・文化資源の保全・活用
2. 既存まちなみ景観や周辺の自然景観、茶畑景観の保全・活用
3. 宇治川太閤堤跡の保存・活用を契機とした新たな魅力の創出
4. 周遊観光を促す観光拠点の形成と観光支援施設の整備
5. 飲食の場の確保など長時間滞在に対応した施設の充実
6. 観光シーズンにおける駐車場不足の解消と周辺道路の混雑緩和
7. 観光客へのPR推進、ターゲットの明確化
8. 安全な生活道路づくりをはじめとする地域のためのまちづくりと観光施策の一体化
9. 市民が主体となったまちづくりに関する新たな組織の構築
10. 茶業と観光の連携による宇治ブランドの構築

4 まちづくりの基本目標と基本方針

■ 基本目標

これまでの「源氏物語のまち・宇治」に加えて、「太閤秀吉とお茶のまち・宇治」を新たなテーマとし、幾重にも積み重なった歴史や文化の風格が漂うまちを目指して、次のとおりまちづくりの基本目標を定めました。

歴史と文化の風格が漂うお茶のまち・宇治

■ 基本方針

まちづくりの基本目標を実現するため、基本方針として以下の3つを定めました。

1 宇治の歴史・文化や景観を守り育てるまちづくり

宇治に暮らす人々が宇治の歴史や文化・景観に誇りと関心を持ち、これらをまちづくりに活かすとともに、宇治茶を文化としてさらに発展させ、後世に継承していくまちづくりを推進します。



2 来訪者が何度も来たくなる、潤いと賑わいあふれるまちづくり

宇治を訪れる人が、何度も来たくなるような魅力あふれるまちにするため、市民や関係者、行政が協働して、潤いと賑わいの創出に向けた取り組みを推進します。



3 人々が安心して暮らせる環境に優しいまちづくり

地域の人々が安心して暮らせるよう、地域の生活環境の改善や公共空間のバリアフリー化を進めるとともに、環境に優しいまちづくりを推進します。

